

第7回 総合計画特別委員会

令和5年11月6日(月) 5階 議場	開会 8時59分 閉会 9時41分
-----------------------	----------------------

午前8時59分 開会

○委員長（小木曾光佐子君）

おはようございます。時間になりましたので始めさせていただきます。

犬塚委員からは少し遅刻するという事で連絡をいただいております。

今日、日中は暑く、朝夕は寒いということで、体調の管理も大変だと思いますし、コロナが明けてから、怒涛のような視察が10月から始まっておりますので、皆さん十分に体調には気をつけて、活動を行っていただきたいと思います。

ただ今から、令和5年第7回総合計画特別委員会を開会いたします。

それでは、議題に入ります。

○委員長（小木曾光佐子君）

1、第7次総合計画基本計画についてを議題といたします。

本件につきましては、8月3日に第4回総合計画特別委員会を開催し、執行部から説明を受けて、質疑応答を行いました。

続いて、8月10日に第5回総合計画特別委員会を開催し、そのときのご意見を基に、基本計画のパブリックコメントが出される前に議会としての意見書が提出できればと思ひまして、第7次総合計画基本計画に対する意見を提出させていただきましたが、現時点では、委員の意見が反映されていない、個人の意見をそのまま出せばいいのではないかというご意見をいただきましたので、皆さんのご意見をそのまま執行部に提出させていただきました。

その後、執行部では、9月21日から10月20日までを期間としてパブリックコメントを行いました。

今回、資料配付させていただきました基本計画（案）では、全庁内での見直しや文言の整理、それから、委員の意見なども取り入れられていると思います。

本日は、パブリックコメントで市民から提出された意見と、それに対する市の考え方及び基本計画（案）について説明を受け、それに対する質疑を行いたいと思います。

それでは、本件について、執行部より説明を求めます。

企画政策課長 加藤 昇君。お願いします。

○企画政策課長（加藤 昇君）

おはようございます。それでは、資料1-1をご覧ください。

パブリックコメントの結果についてでございます。

令和5年9月21日から10月20日までを意見募集期間として、市役所、各コミュニティーセンター、

市ホームページ、広報9月号にて資料を公表し、意見提出については、企画政策課持参、郵送、FAX、メール、専用オンラインフォームのいずれかの方法で意見聴取を行いました。

閲覧件数は229件であり、意見提出は市内在住の方2名から、計4件のご意見をいただきました。以上で、基本計画（案）、パブリックコメント結果の説明を終了いたします。

続いて、いただいた4件のご意見について順に説明いたします。

資料1-2をご覧ください。

一番目のご意見については、前回の計画からどのように変わったのかが分かりにくい。これがないと意見がしづらいというご意見でしたので、早急に対応すべきと判断し、パブコメ期間中に対応いたしました。

瑞浪市総合計画の第6次と第7次の構成比較を作成し、パブコメ期間中の10月5日より、市ホームページにて掲載をしております。意見をいただいた方には、ホームページに掲載した旨連絡をいたしました。

2番目の意見でございます。市民アンケートにおける回答者の年齢別の分析がない。どの世代がどのような意見を持っているのかが分からないため、有効な対策についても判断ができない。中でも不満を感じる若年層の意見を聞かないと、転出者は増え続けるのではないかという趣旨のご意見をいただきました。

この基本計画（案）の資料編については、市民意見聴取のために実施した取り組み内容及び結果の一部を簡潔に示していること、別で市民アンケートの結果を年度ごとに取りまとめ、市ホームページにて公開していることを知らせました。

若者の意見の聴取としては、小中学生アンケートやフューチャーセッションinみずなみ、学生ワークショップを実施し、未来を担う学生たちの率直なご意見を伺いました。こうした若者意見のキーワードとして、施設の充実を求めるもののほか、子育て支援の充実、若者が住み良い町にする、様々な情報発信ツールを活用した積極的な市の魅力発信等が挙げられ、こうした意見を踏まえ、子育て支援やシティプロモーションについて、重点施策に位置づけるなど、第7次瑞浪市総合計画の計画期間中に特に推進すべき施策としていることを説明しております。

3番目のご意見です。瑞浪駅周辺再開発事業についての内容でありました。

1つ目です。駅前に送迎車が待機する広いスペースの確保、2つ目、通勤者のために駅裏駐車場に直結した通路の整備、3番目、駅前商店街の活性化は困難。予算はほかの事業に、の3項目を挙げられております。

回答としましては、瑞浪駅南地区市街地再開発事業において、駅前広場の拡張を検討しております。より使いやすくなるように、送迎車の待機や乗降スペースの見直しを行うこと、併せて、駅北改札口の整備に向けた協議を進めておりまして、送迎車の分散を期待していること。また、北改札口を整備する方法が最も経済的であり、事業期間も短いと考えていることを述べております。

住む人だけでなく、駅を利用する人や訪れる人にとっても、便利で魅力ある町とすることを目指しております。商業機能についても、現在のニーズに合った店舗等の整備ができるよう、関係者の

皆さんと取り組んでいくことを説明しております。

4番目の意見でございます。中山道の魅力向上として、中山道が好きでよく歩いていたが、最近では鶏舎、豚舎の臭いが嫌で足が遠のいているというご意見でした。

なかなか難しい問題ではありますけれども、周辺環境の定期測定を行っていること、市と公害防止協定を締結している畜産事業者の中には、臭気に係る自主検査を行っており、数値に異常が認められた場合には、聞き取りや状況に応じて指導を行うという現状の体制や、市民等から臭いについて相談があった場合には、市で現場を確認し、状況に応じて事情の聞き取りや注意喚起などを行っているという現状を説明しております。

以上で、基本計画（案）に対するご意見と市の考え方の説明を終わります。

続いて、資料1－3、基本計画（案）についてでございます。

こちらにお示ししている基本計画（案）が最終的なものになります。

パブコメ意見に対して、基本計画（案）を修正する内容はありませんでした。

パブコメ期間中に並行して、再度、全庁的に分かりにくい表現や文言がないかを再確認し、一部言い回し等を変更している部分があります。ご承知おきください。

併せて、資料編の策定の経緯についても、会議等の進捗に合わせ、その内容を随時更新しております。

10ページをお願いいたします。

協働の推進です。現時点で、令和4年度に実施した自治会、まちづくり推進組織ワークショップ、みずなみ未来カフェをベースとした記載となっております。今年度、このワークショップをベースとした地域計画の策定に向けたワークショップを各地区において実施中であり、各地区の策定状況を踏まえ、最終調整してまいります。

そのため、記載内容はこれが最後ではありませんが、その内容に合わせて整理していきますので、この部分についてはご了承をお願いいたします。

以上で、基本構想に掲げた将来都市像「幸せ実感都市みずなみ～いっしょに創ろう 夢ある未来～」を実現するための施策となる基本計画（案）の説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○委員長（小木曾光佐子君）

ご苦労様でした。

それでは、ここで質疑を行います。

質疑はありませんか。

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

パブリックコメント全体のことで、これだけ閲覧があって、意見がこういう数だということは、どういうふうを受け止めてみえるか聞きたいところで、見られたけども意見がなく、皆さん賛同してくれるというような捉え方なのか。このパブリックコメントに対する市民の対応についてどういう評価をされてるかちょっと聞きたいと思う。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

これについては、ご意見がある方については、そのご意見を述べていただくという機会がパブコメの制度を設けておりました、確かに閲覧だけして、その内容をどこまで深く見られているかというところまでは、ちょっと我々のほうではつかんでおりませんが、おおむねこの閲覧した方については、その内容について賛同をいただいているというふうに捉えております。

以上です。

○委員長（小木曾光佐子君）

ありがとうございました。

ほかに。

5番 柴田幸一郎君。

○5番（柴田幸一郎君）

見え消しがところどころに存在していますが、これはどういうことなのかちょっと教えていただけないか。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

パブリックコメント（案）を出しまして、その後、並行して、もう一度、議会に上程する前の段階で、庁内で文言の確認と整理を行いました。

本来であれば、パブコメと同時に、この見え消しがないものを出したかったんですけども、そこはちょっと反省点がありますが、より良い、市民の方に分かりやすい表現というところで、もう一度、庁内検討委員会に出したところ、こういった表現のほうが良いというご意見がありましたので、パブリックコメント後の訂正部分については見え消しということで、委員の皆様に分かやすいように資料提供をしたところでございます。

○委員長（小木曾光佐子君）

ありがとうございます。

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

先ほど熊谷委員がちょっと言われたんですけども、パブコメをやって、この件が229件の閲覧もあって、1件だという話なんですけど、市民が本当にこの第7次瑞浪市総合計画に、目が向いているのかなということがちょっと私、非常に心配してるんですけど、この12月議会で議決してしまってたんだという話になってしまう可能性があり得るんじゃないのかなと思うんですけども、これも我々委員の責任もあるのかなと私自身思ってますけど、その辺はどんなふうな考えというか、あれで受け止めていますかね。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

まず、今回、第7次総合計画を策定するに当たり、昨年度から取り組んでまいりましたけれども、視覚的に、今、第7次総合計画に取り組んでますよということで、のぼりを作ったりとか、あとはバッチを皆さんに配布したりとか、いろいろな場面で、現在、瑞浪市は第7次総合計画を作ってますよというものを何とか周知したいという思いでいろいろな取り組みをしてきました。

成瀬委員がおっしゃるように、全市民に伝わっているかというところはなかなか難しいものがあるかなと思いますけれども、今回は特に若い世代の方に多く意見をもらう機会を設けまして、その取り組みが裾野が広がって、現在、地域計画の策定というところまで進んでおりますけれども、そういった中では、今まで以上にこの総合計画については市民の方に触れる場面が多かったのかなと思っておりますので、まだまだ情報発信は足りない部分もありますけれども、12月議会でこの基本計画が通った暁には、総合計画というものを、後ほど説明するビジョンブックというのを作りますけれども、そういったもので広報のルートを使って市民の方に周知する予定でもありますので、今後も、これからもずっと課題にはなりますけれども、情報発信は引き続き丁寧に行っていきたいと思っております。

○委員長（小木曾光佐子君）

ありがとうございました。

ほかに。

5番 柴田幸一郎君。

○5番（柴田幸一郎君）

今、各地域で地域計画の話し合いが行われていて、それがもう大体終わりを迎えてきてます。各地域ですばらしい意見が出てきているんですが、その意見は、この総合計画の中に埋め込むような考え方はないのでしょうか。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

はい、ありがとうございます。

基本計画（案）の10ページに、瑞浪市の全図を用いまして、協働の推進という箇所になりますが、こちらで端的に各地域の取り組みを文章で表現したいなというふうに思っております、詳しい内容は各地域で持っておりますので、もちろん地域計画があって、第7次総合計画の中に地域計画が含まれているという捉え方で進めていきたいと思っております。

○委員長（小木曾光佐子君）

ありがとうございます。

はい、どうぞ。

○5番（柴田幸一郎君）

今、この10ページのものは、以前行った未来カフェのデータを基にして作られておるわけですが、この未来カフェは確か1日かそこら辺で話し合ったようなものだと思っております。

また、地域計画は3日間で、それも人数が非常に多いと思っております。もしも、これだけで示すのではなくて、地域計画がもうすぐ終わりますので、私はそっちのほうを重点的に書いたほうがいいじゃないかなと心の中では思っております。

これは意見として受け取っていただければありがたいと思っております。

○委員長（小木曾光佐子君）

柴田幸一郎委員、10ページのところに、令和5年実施中の地域計画の策定状況を踏まえて調整していくっていう赤字の枠があると思しますので、これから変更をまだされていくということですので、よろしく願います。

○5番（柴田幸一郎君）

意見でした。ありがとうございました。

○委員長（小木曾光佐子君）

ほかによろしいでしょうか。

7番 辻 正之君。

○7番（辻 正之君）

35ページのところになるんですけども、農家の育成支援というところですが、ここの中で遊休農地という言葉が出てくるんですけども、耕作放棄地とかそういう言葉もあるんですけど、そういったものとか、あるいは、この農地の遊休ですから、使わないで草ぼうぼうになったりとかいう状態で放置されてるとか、そういうのもあるわけなんですけれども、そういったことに対する文言をちょっと入れたらどうですかという意見ですけども。そういうものを解消したらどうか。草刈りとかで、草ぼうぼうになっているところをなくしていくという。方向性ですね。それを入れたらどうかと思っております。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

表現についてはいろいろご意見があろうかと思いますが、この耕作放棄地も含めたものを遊休農地というふうに表現しております。

細かい施策については、事業については、今回は基本計画ということで、基本構想を実現するための施策という位置づけでありますので、実施計画とかそういったところで事業化できていければいいかなと思っております。

○委員長（小木曾光佐子君）

よろしいでしょうか。

ほかに。

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

パブリックコメントに出てる、中山道の魅力というところで、困っとることの対応自体はよく分かるんやけども、臭いとか。この間、4日に中山道ウォークがあって、ずっと見ると、要は観光によって恩恵にあずかるところがないわけやね。中山道を歩いていても、歩いて通過されるだけで、魅力を発信して歩かれることを望んでも、瑞浪市にとっては、地域の利益や何かにはつながらないんじゃないかという。

臭いがどうで、歩く人が少なくなるとかどうとかという以前に、まず、中山道の魅力を増して、それを恩恵にあずかるというところに結びつかないと、なかなかこれ続かないんだろうというふうに思うわけです。

御嵩の町中を歩いていくと、そこを利用する人があるということで、御嵩町はすごい利益を得る可能性があるというようなことを考えると、中山道に対して単なる道路整備や歩くのがいいところですよとか、名称どうですよということだけなのか、もっと違う形で、観光の名所にするような、そういうビジョンがあってしかるべきだと僕は思うわけやけど、その辺についてはどういうふうな見解があるかなと。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

中山道は圧倒的な観光資源だと思っております。その上で、行政だけでできる部分、できない部分というのがありますので、今回、基本計画の中でも、重点政策の一つとしてシティプロモーションを位置づけておりますので、このシティプロモーションというのが、オール瑞浪でやっていきたいという方針の下、行政だけではできませんので、関係者の皆さんと、その辺りも共有しながら、委員がおっしゃるように、滞在期間が長ければ長いほど経済効果があるということになりますので、ただのイベントで歩かれるだけでも何か経済的な波及があるような仕組みができるといいかなと思いますので、みんなで知恵を出し合いながら、この第7次総合計画の中で、中山道も含め、魅力向上の発信に努めていきたいですし、観光の部分でも、こればかりではないんですが、中山道も含めていろいろと仕掛けをしていければいいかなと思います。

○委員長（小木曾光佐子君）

ありがとうございます。

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

ほかと比較するわけでもないけども、瑞浪市に関係のある方とどういう協議して、自治会であるとか、まちづくりであるとか、そういうことではなくて、僕は民間との関わりが非常に希薄な感じがするわけやね。

観光自体というものがもう民間の事業であるし、そのほうがスムーズに行く部分があって、何も

市が主体でやれとは言わんけども、民間の新種の誘発をすることが、何とか図面を描くと、ここにはこういう休憩所ができますよ、どうやっていうと、それがそこにお茶をやったらどうやろうとか、そういう民間の魅力がないと、ただ単に歩くところを整備してもごみが増えるだけで、いいことないと思うわけね。

僕はもうちょっと民間との関わりを深めたほうがいいということを訴えたほうがいいのではないかなと。もう市が主導でなくても、民間を誘発するというような方向性のほうがいいのではないかなと僕は思うんやけども、どうでしょう。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

お手数をかけますが、基本計画案の8ページをお願いいたします。

この部分が、今、シティプロモーションの推進ということで、私が先ほど口頭で説明した内容になりまして、その下に図があります。ちょっと行政側が中心にはなっておりますが、市民や企業、学校、各種団体、自治会、まちづくりで、今、瑞浪市は観光協会のほうもかなり力を入れておりますので、そういった方々と連携を図りながら、委員がおっしゃるとおり、民間の力は非常に大切だと思っておりますので、こういった考えで進めていけるといいかなと思っております。

○委員長（小木曾光佐子君）

ありがとうございます。

15番 加藤輔之君。

○15番（加藤輔之君）

10ページのところで、ここが変わるということだと思いますけども、今、樋田委員と私でダムができるかどうかということで、国へ行って、五月橋ができると、道路ができると日吉の町がこんなふうに変りますよなんていろんな話をしてくるわけですけども、その辺で、五月橋についての今後、確実にできるわけで、大きな市の変化だというふうに思っておりますけど。

そのことと、もう一つ、高野先生が今、一緒になってやっておられる地域計画の策定が間もなく結論が出るということで、それぞれの地域にとって非常に燃えとると。若い衆も大変出てきて、わあわあ言って、すばらしい意見が出てきておるんで、10ページの辺がどう変わるかを非常に期待しておるわけですけども、どうですか。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

ありがとうございます。五月橋については、地域資源を生かした観光連携というところで位置付けておりますけれども、今、国土交通省が新丸山ダム建設の事業展開を踏まえまして、関係市町を含む団体で、新丸山ダム水源地域協議会というものを作りまして、その中で、新丸山ダム周辺地域ビジョンというものを打ち出しております。

ここにはそれぞれの地域資源を生かしたものがつながっているような図になっておりますが、せっかく車が通れる橋が架かりますので、そういうものも含めて往来ができる、いろいろな方、新しい観光につながるというんですけれども、そういった意味では、まずは周辺地域ビジョンというものに基づいて、既に担当課ではそれを位置づけて取り組んでおりますので、この第7次総合計画の中で、基本計画はこの程度なんですけど、実施計画あたりでしっかりと位置づけていくことになるのかと思います。

地域計画については、先ほどの10ページにありますとおり、未来カフェの結果に基づいて、今、各地域でいわゆる10年間の地域のビジョンを作っていただいておりますので、その一番こういうことをしたいよという部分について、この10ページで表現していきたいと。

その中身については、QRコードを使う方法もありますけれども、各地域の計画に飛ぶような仕組みも可能かと思っておりますので、この基本計画の中に全てが全て盛り込めるかということ、ちょっと難しいんですが、各地域の計画に連携できるようなことも考えておりますので、そういった意味で解釈いただければありがたいです。

○委員長（小木曾光佐子君）

ありがとうございます。

新丸は39ページの辺りに明記されておりますので、お願いします。

ほかにありませんでしょうか。

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

41ページを見まして、いろいろ目標手法がそれぞれ出とると思うんですけども、僕ちょっとこの数字が一番難しいのかなと思って見ております。経常収支比率のところは、おおむねできておるので、そのまま行くかと思うんですけども、住み良いところだということところが、5年で5%、10年で10%向上すると。現状に不満も感じないということも同じく5%、10%と、かなりとつびなことをしないと、ここまでの数字の改善が難しいと思うんですよね。

だから、でも計画の中には何をすることが、正直言うと、うたっていないので、数字の目標だけ一人歩きしないかなというのが心配で、人口ビジョンのほうは修正していただいておりますけども、本当に5%、10%。1年に1%ずつ必ず改善していくってようなことが可能なものか。僕はちょっと、この計画の中からはこれが改善できる根拠が見つけれなかったかなと思いますので、本当にここだけじゃないですけど、数値目標がこれで達成していけるのであればいいんですが、ちょっとその根拠が弱いのかなと思いますが、いかがでしょうか。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

ありがとうございます。数値目標については、かなり精査をして、かなり高い目標も設定しております。というのは、基本構想で3万4,000人という人口の目標を出しておりますけれども、これ

も本当になかなか高い目標かなということは我々も認識しておりますが、基本構想のところでも市長も説明されたとおり、この第7次総合計画の期間内で何とか若い世代に渡せるまちづくりをしたいという思いがあって、それをこの第7次総合計画の中にふんだんに盛り込んでおりますけれども、何といても、ハード事業で言えば瑞浪駅の再開発がその一つの起爆剤になる。

あとは釜戸にできる道の駅、それから、きなあつ瑞浪のバーベキュー場であったりとか、そういった新しくできる資源によって、この住みやすい町だとか、あとは現状に不満を抱いてないとか、そういった事業によって底上げできるという思いで、これは1%、2%という細かいところよりも、切りのいいところで5%ずつの目標にしておりますけれども、何といてもそのハード事業、瑞浪市にとっても大変大きな大規模事業になりますので、これを起爆剤として、何とか移住定住につながればということです。

○委員長（小木曾光佐子君）

8番 樋田翔太君。

○8番（樋田翔太君）

かなり高い目標なので頑張っていたきたいと思いますのですが、もう一つは、労働の関係のところは確かあったと思うんですけども、瑞浪市は働きやすいと思うかというやつが、35ページでしたね。

これは確かアンケートの取り方としては、全体にアンケートを取っておいて、その中の回答の中で出しておるかというふうに思うんですけども、ただその労働してる人というか、確かそこに絞ってないはずなんですよ。

だから、例えばもう引退されて、働く環境についてよく分かってない方も、働きやすそうだなと思ったら丸打っちゃうとか、そういうことが起こり得る話なので、例えば、子育てしやすさとかだったら子育て世代だけに絞るとか、働いているところだけに絞って、こういう労働環境とかそういうことを出すとか、そうしないと、よく分かってなくて丸打っちゃうとか、それが指標としてぶれると僕は思いますので、アンケートを取ったときに関わりが深い人に対してそれは数字を取れるようにしていただいたほうがいいかなと思いますが、その辺はどうお考えですか。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

アンケートについては、このままいきたいと思ってまして、というのは、無作為抽出でやっておりますので、若い世代の方にも答えていただきたいという思いで、今は電子的な方法も取っております。

ということで、年代であったり、あとは性別であったり、性別は今どちらでもいいという項目がありますが、そういった細かいところも皆さんに聞いておりますので、こちらのバックデータとしては、どの世代の方がどういう意見を出しているということも分析できる状態になっております。

ですので、委員がおっしゃるとおり、世代ごとでやっぱり感覚が違うと思いますが、そういったところもしっかりと分析した中で、これは大卒の目標ということで捉えていただきたいと思いま

す。

○委員長（小木曾光佐子君）

よろしいでしょうか。

ほかにご意見ありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ほかにも質疑もないようですので、本件についての質疑は終結いたします。

○委員長（小木曾光佐子君）

次に、2、第7次総合計画基本構想（ビジョンブック）についてを議題といたします。

それでは、本件について、執行部より説明を求めます。

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

それでは、資料2、第7次瑞浪市総合計画基本構想（ビジョンブック）についてご説明を申し上げます。

これは基本構想のビジョンブックのデザイン案、たたき台です。記載の文言等につきましては、先般の9月議会において議決をいただいた内容になっております。

総合計画が市民と行政のまちづくりの指針という位置づけでありながら、これまで認知度が低いという観点から、写真などをふんだんに使い、視覚的に訴え、手に取りやすい形を目指して、このビジョンブックを作成しているものでございます。

総合計画を身近なものに感じていただくため、ビジュアル、デザイン性にも注力し、将来都市像や、まちづくりの方向性といったビジョンも分かりやすく市民の皆様に伝えていきたいというコンセプトで進めております。

掲載の写真は、現段階のデザイン案、たたき台としているものであり、更に今後検討を重ね、それぞれのページのイメージにより皆様に伝わるようなものにしていきたいというふうに思っております。

令和6年1月頃までに、写真や全体のデザインを決めまして、印刷、製本をした後、第7次瑞浪市総合計画の開始に当たる4月、広報みずなみ4月号の全戸配布に合わせて、皆様方に配布をする予定としております。

委員の皆様や総合計画審議会に関わっていただいた方には、別途、3月頃までに配付したいというふうに思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

以上で、第7次瑞浪市総合計画基本構想（ビジョンブック）の説明を終わります。

○委員長（小木曾光佐子君）

ご苦労様でした。

それでは、ここで質疑を行います。

質疑はありませんか。

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

このビジョン計画の4ページ、「幸せ実感都市みずなみ」の写真に草刈りをやってる人のスタイルは、安全管理上非常にまずいんだけど、瑞浪市何やっとなんだという話になると思いますので、これはちょっとまずいと思うんだけど。どうですか。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

ご意見ありがとうございます。これ土岐地区のまちづくりの取り組みでして、昨年度からスタートしたんですけど、今年度初めて女性専用の「草刈り女子隊」というものを計画しまして、40名近くの方が来られました。そのときの写真なんですけど、当然、ちょっと拡大していただくと、透明なゴーグルをしていただいている方もいますが、ちょっとこれ作業が終わったときの写真なので、この辺も含めて、委員がおっしゃるように心配の声があるのも事実ですので、見直しなり、再度検討していきたいなと思います。

今まで女性がなかなか携われなかった草刈りというところに焦点を置いたものですから、何とか草刈りしてるのが分かる写真が、何枚もあるんですけども、ちょっと考えます。ありがとうございます。

○委員長（小木曾光佐子君）

お願いします。安全管理がしっかりできるようにお願いします。

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

さっき全戸配布ということですけど、この草刈りがニュースになって、新聞出たんだよね。そしてたら、ほかの市の人から、瑞浪はすごいなど。全然うちのところはやってくれへんと言われた方があって、これは人口減少でも、移住定住にも関わることであると。ほかのところへも配布したらどうかなんていうことを思うわけで、その辺のところは計画の俎上にあるのかどうかをお聞きしたい。

全戸配布だけで、市内だけで終わるといふ配布の仕方ですか。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

関係している、姉妹都市であったりとか、そういうところには配布する予定なんですけど、基本的には市内の市民の方向けに配布をしたい。

関係人口という言葉もありますので、そういったところは随時、瑞浪市の第7次総合計画で分かりやすいものを作りたいものから、これを使って情報発信できればと思っています。

○委員長（小木曾光佐子君）

ありがとうございました。

8番 樋田翔太君。

○8番（美田翔太君）

情報発信のきっかけとなるというふうにありましたので、例えば今、インスタグラムやツイッターなどを一生懸命やってみえるので、そこへの誘導が可能であればしていただきたいなと思います。

例えば、今、成人式から名前変わりましたよね。そういうところでこういうのを待ち時間とかに読まれたら、そこからインスタとかツイッターをフォローしていただければ、若い人に継続的に発信するツールに結びつけができるかなというふうに思いますので、これを、非常に見やすいと思いますので、ここからつながり続けられるような仕組みに持って行ってほしいと思いますので、よろしくをお願いします。

○委員長（小木曾光佐子君）

企画政策課長 加藤 昇君。

○企画政策課長（加藤 昇君）

ありがとうございます。参考にさせていただいて、そういうふうにできればと思います。

○委員長（小木曾光佐子君）

ありがとうございます。

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ほかに発言もないようですので、質疑を終結いたします。

○委員長（小木曾光佐子君）

ここで、執行部の皆さんはご退席ください。

ご苦労様でした。

〔執行部 退席〕

○委員長（小木曾光佐子君）

それでは、次に3、その他を議題といたします。

今日行いました計画（案）につきましては、12月議会に基本計画（案）が上程される予定になっております。

今後の審議につきましては、12月13日の予算決算委員会の予備日の朝から委員会ということで進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

これについて、何かご意見はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小木曾光佐子君）

別段発言もないようですので、以上をもちまして、令和5年第7回総合計画特別委員会を閉会いたします。

お疲れ様でした。ありがとうございました。

午前9時41分 閉会